

高校生ものづくりアイデアコンテスト受賞者決定

作品部門

最優秀賞 たぐりよせ君

豊橋工科高等学校 中野 朋希さん、佐藤 士虎さん

提案の内容

洗濯物が乾いているかを天秤で判断し、自動で屋根のある軒下へハンガーに吊り下げられている洗濯物を手繰り寄せてくれます。また、乾いている事を判断するために、ダミーの布は、乾きづらい生地をサンプルとして、乾いたらペットボトルの水の重さを調整し、ペットボトルの側が下がるようにしました。

優秀賞 ベルトレイン

豊川工科高等学校 石黒 陽香さん、深谷 竜依さん

提案の内容

私の学校の実習服のズボンにはベルトを通します。毎回着替えの時ベルトを通す度に不便に思うことが二つあります。ベルトを通すとき後ろが見えないのでベルトが通しにくいことと、たまにベルトループを飛ばしてしまうことです。この問題を克服するために考えた作品がベルトレインです。手を使わずにベルトを通す方法として、ベルトの先端に磁石を取り付け、次に磁石付きグリップでベルトを誘導する形態としました。ベルトレインが普及すれば、みんなの生活がちょっと便利になり、笑顔が生まれることでしょう。

入選 カンタン換気パネル

オブ
ザーバー
賞

豊橋聾学校

河合 真都さん、藤野 龍冴さん、細野 愛偉さん

提案の内容

きっかけは、新型コロナウイルスの流行でした。冬寒くても換気しなければならず、冷たい風が直接体に当たっていました。雨の日は少し開けた窓からの雨で濡れた箇所をいつも拭いていました。カンタン換気パネルはプラスチック段ボールを窓枠の内側左側に取り付け、換気しながら雨の降り込みや冷気の侵入を防ぐパネルです。換気扇と比べて設置費用が格段に安く、電気代もかかりません。学校や官公庁、公共の場などエコ対策や換気を推奨している場所で必要とされる作品です。

作品部門

奨励賞 よいしょっと！クールリュック枕

宝陵高等学校

鈴木 彩香さん、大河 ののせさん
青木 結里さん、小泉 紗和さん

提案の内容

看護臨地実習の際、受け持たせていただいた患者様がきっかけです。離床意欲のない患者様は体位を維持できるような身体を支える体交枕を使用して安楽な体位を保てるようにしています。しかし、患者様が暑さにより体交枕を取り除いた後、安楽な体位は保てなくなります。クールリュック枕は体交枕に暑さ対策となる保冷剤を入れるポケットと、安楽な体位を固定できる肩紐を取り付けました。この作品を通して、患者様の想いに応えられたらうれしいです。

奨励賞 シャカシャカ ドライ

豊川工科高等学校

深谷 竜依さん、石黒 陽香さん

提案の内容

前日の夜洗濯した靴下が生乾きの状態、靴下だけのために乾燥機を使うのは電気代が気になります。乾燥機を使わずに少量の洗濯物を乾かす方法はないかと考えたことがシャカシャカドライ作製のきっかけとなりました。温風が出せてどこの家庭にもあるヘアードライヤーを使って簡易的な乾燥機を作ろうと考え、実験を重ね今回の作品ができあがりました。使わないときは本体を折りたたんで収納できます。また、効率よく乾かすために装置全体をシャカシャカ振ることから作品名が決まりました。

高校生ものづくりアイデアコンテスト受賞者決定

アイデア部門

最優秀賞 ワンタッチごみ箱「コケポン」

藤ノ花女子高等学校 芳村 満里奈さん

提案の内容

母がごみ箱から指定のごみ袋を取り出すのは重いし、大変と言っていたことがこのアイデアのきっかけです。従来はごみ箱からごみ袋を取り出しますが、逆の発想でごみ袋からごみ箱を取り外す形態になっています。名称を「コケポン」とした理由は鶏（ごみ箱）が卵（ごみ袋）を産むイメージからです。45ℓごみ袋に対応するにはごみ箱のサイズが大きくなってしまったため、デザインを可愛くしてオブジェとして成立するように考えました。

優秀賞 豊橋少年少女発明クラブの工作教室で使うための治具

オブ
ザーバー
賞

豊橋工科高等学校

後藤 聡介さん、岡本 鉄平さん

植松 元季さん、富田 悠生さん

提案の内容

豊橋少年少女発明クラブの工作教室で行われる工作について、高校生が実際に作ってみたところ、作業に時間がかかる上に難易度が高すぎると感じたものがありました。そこでより安全に、より簡単に工作を行える治具を作ろうと考えました。この治具はブロック下部の溝にゴムチューブを合わせて、上部の孔からポンチを挿入することで二つを保持することができ、ずれることなくゴムチューブに穴をあけられます。ものづくりは愛という思いを込めたアイデアです。

入選 綺麗スツキリボトル

豊橋商業高等学校 彦坂 美空さん

提案の内容

ボトルに入ったコンディショナーを全部使い切ったことがなく、勿体ないと思ったところから、このアイデアを思いつきました。従来のボトルは上部に詰め替え用の開閉口があり、手を入れることはできません。このアイデアはボトルの真ん中あたりに開閉口を設け、ボトルの壁や底に残っている部分を手で取り最後まで使い切れるようになっています。こうすることによりボトルを捨てる時も簡単に水洗いできるので使いやすさと環境に配慮できます。

奨励賞 避難所サポートカード

豊橋南高等学校 高柳 柚奈さん

提案の内容

ボランティア活動を通して、視覚障がい者の方から実際に災害にあったときに避難所での生活が不安であるという声を耳にしました。視覚障がい者も健常者も理解できる「避難所マニュアル」を作成し、それを広めることが視覚障がい者の避難率の向上につながると考えました。避難所の注意事項を読み上げ機能のある文書作成アプリで作成します。事前にスマホ等にアプリをインストールしておけば、ネットに繋がらなくても避難時にアプリで注意事項を読み上げてもらえます。

奨励賞 ハザードシューズ

藤ノ花女子高等学校 伊藤 逢花さん

提案の内容

親戚の子どもが小学生になり事件や事故に巻き込まれて欲しくないと思い、このアイデアを思いつきました。ハザードシューズはGPSとハザードマップを内蔵し、どこにいるか追跡することができます。さらに危険な場所に近づくとセンサーにより靴が振動して危険を知らせてくれます。靴の脱ぎ履きはマジックテープにより簡単にできるように考えました。靴は誰もが外出するとき身に付けるため忘れる心配もありません。